

令和7年7月15日

## 令和7年度 第1回 総合教育会議資料

学校指導課

### ICT の活用状況について

#### 1 1stGIGA スクール構想

##### (1) 学習における主な活用例（別紙資料① 参照）

- ・ デジタルドリル等を利用し、学習内容の定着を図る。
- ・ 各教科において、インターネット検索を利用し調べる。（情報収集）
- ・ 動画資料や音声など様々な情報を利用し、理解を深める。
- ・ ノートやワークシート代わりに用いて、自分の考えをまとめる。
- ・ プレゼンテーションアプリを使って、学習してわかったことを紹介したり、発表したりする。
- ・ 個々の考えを一覧で提示し、全体で共有する。
- ・ 児童生徒の学習状況の進捗状況を把握する。

##### (2) 成果と課題

- タブレット型端末機器の操作にも慣れ、一斉指導において、教師の指示のもと ICT を活用しながら学習を進めることができる。
- 児童生徒自身が ICT 活用のよさを実感しながら利用している。
- 課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組むことが課題である。
- 教員の技術・技能研修について伴走型の支援が必要

#### 2 2ndGIGA スクール構想

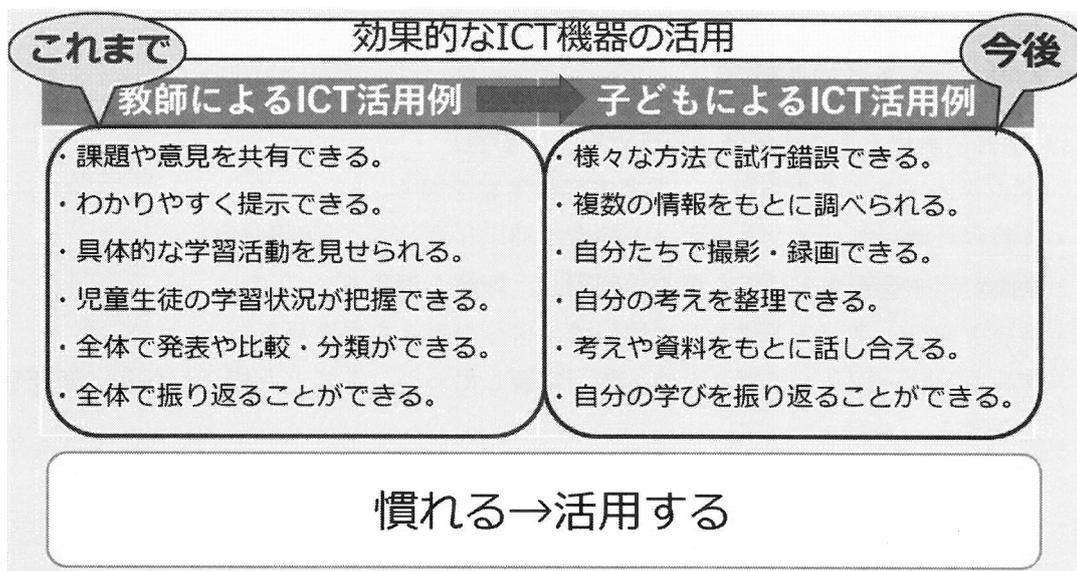
##### (1) 今後の本村の取組

- ・ クラウドをフル活用できるよう環境整備
- ・ 情報教育リーダー研修の充実
- ・ 学校セキュリティ研修の実施（令和6年度～10年度）
- ・ 先進校視察研修の実施や県内先進校の公開研究会への参加
- ・ クラウド活用による校務DXや学びのDX（いつでも・誰とでも・共有・協働編集）に関する各学校の実践例や取組の共有
- ・ ICT支援員による授業支援や研修支援
- ・ 学校訪問における指導助言

・新しい端末利用に関する操作研修

(2) 現状における ICT 活用の様子 (別紙資料② 参照)

- 「自立した学習者の育成」を目指し、学習過程を提示し自分で学習を進められるように ICT を活用して取り組む学級も見られ始めている。
- 自分にあった学び方を見出せるよう、ICT の活用も含めて学び方を選択させる。



別紙資料①

練習・習熟する

デジタルドリル等の活用で、学習内容の定着を図る



考えをまとめる



自分の考えをまとめる  
ノートやワークシートの代わり



調べる

社会科の学習でインターネットを使って検索し、情報を集める。



生活科の学習で「1年生へのお招き会」に向けて、折り紙の折り方を動画で確かめる。

表現する・発表する

理科の学習  
自分の考えをグループで発表



総合的な学習で  
読谷村のおすすめの場所や歴史や文化をプレゼンテーション



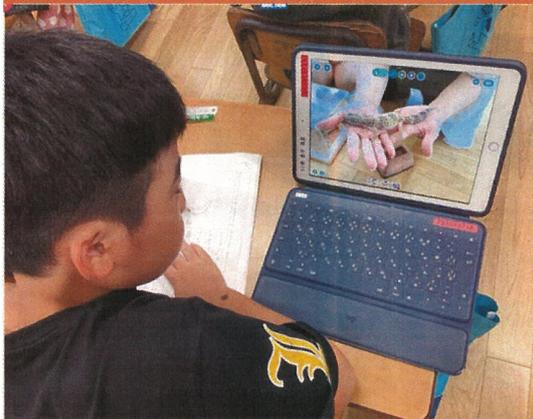
別紙資料② 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指して

自分のペースで安心して じっくり学ぶ

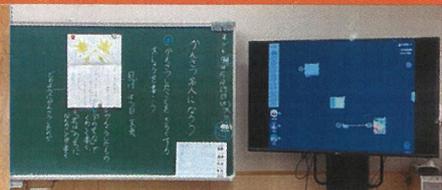


(タブレットで拡大しながらじっくり観察)  
 C: 何か花が咲きそうだよ (自分で気づく)  
 T: これは何? C: なす。  
 C: なすとオクラがある。  
 T: 似てる? 違う?  
 C: 全然違う。オクラは緑だから

アナログとデジタルの融合で豊かな学びを目指す



ICTの良さを活かして、いつでも、何度でも、細かいところまでじっくり 観察→観察する力から深い認識へ

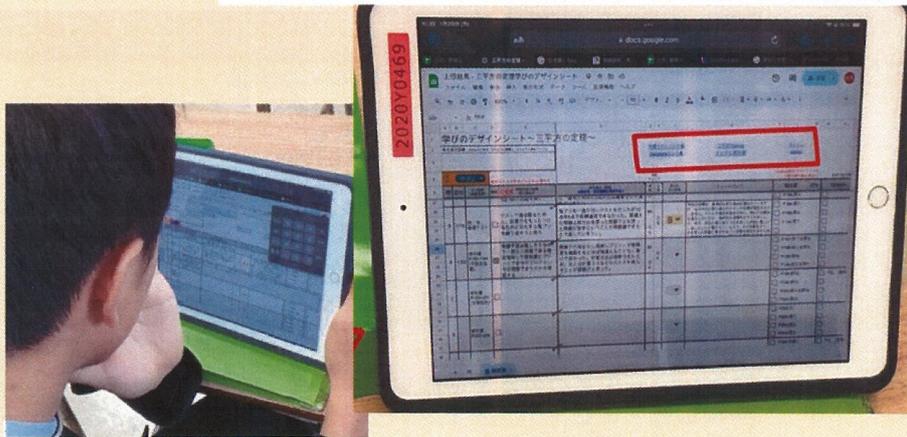


書き方の手がかりを示す→自分で考えるヒント



他者参照しながら自分の考えをまとめる

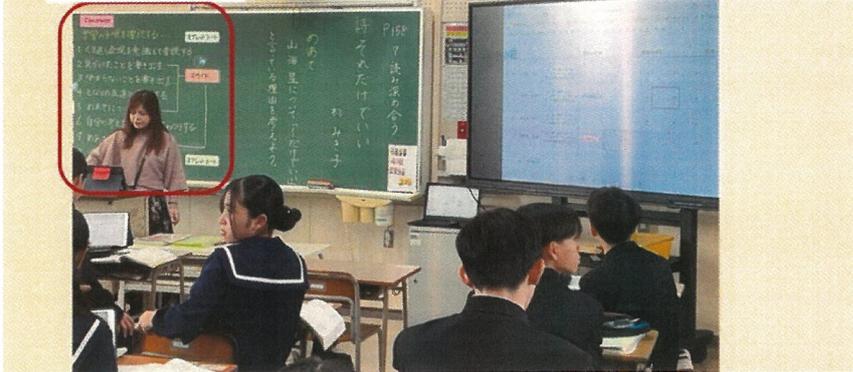
他者参照 (リアルタイムで友達の考えを参考にできる)



## 自分で学習を進めることを取り入れる

学習の流れと使用するシート等の明示化

学習の進捗状況をクラウドを活用して可視化（生徒とも共有）



## 学びの多様化—自分に合った学び方を選ぶ

ICTを活用しながら

チャレンジ課題に友達と挑む

グループで

自分で

先生とともに

ペアで



## 学びDX

## 今年度の古堅南小学校の学習光景より

学習過程①課題の設定②情報の収集③整理・分析④まとめ・表現⑤振り返り・改善

学習の流れ  
→学習の  
見通しを持つ

学習の進め方などを  
子供とクラウドで共有

多様な方法で情報を得る

